

2010 年度 日本数学会季期研究所
MSJ Seasonal Institute (MSJ-SI) 2010/2011

2010 年度の MSJ-SI のテーマ公募をいたします。

1. 開催目的

- 国内での数学研究のより一層の活性化
- 次世代研究者の育成
- 海外の数学者との交流の促進、および国際貢献

2. 運営組織について

組織委員長 1 名のもと、組織委員会を構成し、講演者・プログラムの決定などすべての決定を行う。日本数学会の学術委員会は適宜、助言を与えるものとする。さらに

- 数学会からの事務支援について
学術委員会を通じて、数学会事務局が運営の援助を行う。
(本号の学術委員会報告を参考にしてください。)

3. 財政基盤について

数学会から 200 万円程度が組織委員会に援助される。これ以上の費用を必要とする場合は、組織委員会が各種財団・公的資金に応募するものとする。

4. 開催条件

- 開催主体は日本数学会とする。場合により、大学や財団法人等非営利団体との共同主催・共催・後援も可能とする。やむを得ない場合には、企業等による協賛・後援も許容する。
- 規模は組織委員会の決定に任せられるが、海外からの招待講演者を必ず含むものとし、また招待講演者の一部によるサーベイ形式の講演を行うものとする。
- 日本数学会と連携する海外数学会・研究所等を通じて、海外からの若手の研究者を招待することを奨励する。
- 開催は、日本国内で行うものとする。
- 参加登録は会場施設の許す限りオープンに受け付ける。
- レフェリーつきの研究あるいはサーベイ論文を主とする報告集を作成し、原則として数学会から出版する。
- 研究集会のアナウンスメントを、適宜、数学通信に掲載する。また、研究集会の開催後、開催報告も数学通信に掲載する。
- 研究集会終了後、開催報告レポートを数学会に提出する。

5. テーマ公募の方法

- 2010 年度中の開催に関して、数学会会員から広くテーマを募集する。
締切 2008 年 3 月 14 日 (金)

- 応募者は、研究集会のテーマ、提案理由、主要な講演者（国外および国内）を記入の上、その他参考となる資料があれば、添えて提出する。（次ページの用紙を参考のこと）必要事項が書かれていればメールでも可。（添付ファイルがある場合は、pdf にすること。）

今回の募集について追加説明します。

学術委員会において、2010 年度 MSJ-SI は会員からの公募で行うこととし、どのような形で行うか検討してまいりましたが、第 1 回の 2008 年度 MSJ-SI の開催がいまだおこなわれていない現段階で、公募の形式を決定することは難しいという結論にいたりました。

したがいまして、今回の公募は過渡期的な方策として、形式をはっきりと決めることなく、MSJ-SI のテーマとしてとして取り上げたらいいと思われる話題を広くご推薦いただくことにいたしました。その推薦をもとに、学術委員会として検討させていただいた上で、推薦者をご相談させていただきながら、組織委員長や組織委員会、そして運営の形を決めていただくという形で行わせていただくように考えています。

推薦宛先：学術委員会委員長 中島 啓

E-mail : nakajima@math.kyoto-u.ac.jp

郵便もしくは FAX の場合

〒 606-8502 京都市左京区北白川追分町

京都大学大学院理学研究科数学教室

日本数学会 学術委員会 堤 誉志雄 (委員長代理) 宛

Fax : 075-753-2663

(郵便の場合は、MSJ-SI テーマ公募と朱書すること)

2010年度 日本数学会季期研究所 (MSJ-SI) 応募用紙

研究集会のテーマ（日本語および英語）：

上記テーマを提案する理由：

主要講演者（本人の承諾は不要） 氏名（所属）

国内

国外

提案者（所属）署名